

国立大学法人医学部等附属病院内患者向け図書室に関するアンケート調査

	2006 回答 33大学 (回収率78.6%)	2018 回答40病院 (回収率86%)	2016 平均	2018 平均
質問1. 貴大学の病院内に患者の方用の「図書室」はありますか。				
ある→ 質問2. ^	20 (61%)	28 (70%)		
ない→ 質問3. ^	13 (39%)	12 (30%)		
質問2. 質問1. で「ある」とお答えした方にお伺いします。				
1) 備え付け資料の種類と規模をお知らせください。およその冊数もご記入ください。(複数選択式)				
小説など一般書	20 (100%)	27 (96%)	3,643	5,355
闘病記(今回質問)		17 (06%)		279
「家庭の医学」など一般向け医療健康書	16 (80%)	24 (85%)	178	377
医学関連分野の学術書	7 (35%)	16 (57%)	445	279
パンフレット	3 (15%)	9 (32%)	12	29
ビデオ・DVD・CDなど視聴覚資料	8 (40%)	9 (32%)	60	191
インターネット環境のある端末	8 (40%)	11 (39%)	2.5	2.1
その他(例:新聞記事のスクラップなど)	4 (20%)	7 (25%)		
2) 運営:		(未記入1)		
予算:あり	3 (15%)	10 (37%)		
なし	17 (85%)	17 (63%)		
資料収集手段				
購入	5 (25%)	13 (48%)		
寄贈のみ	15 (75%)	14 (52%)		
開室日時:				
1週間平均開室日数 (常時開放を除く)	週4. 2日	無人・不定期各1室		
1日平均開室時間 (常時開放を除く)	1日4時間	5. 0日		
常駐なし常時開放	6館	7. 6時間		
1室				
開室時のスタッフ:(今回質問)				
1人	4 (20%)	12 (43%)		
2~3人	8 (40%)	6 (21%)		
4人以上	1 (5%)	2 (7%)		
常駐せず	7 (35%)	8 (29%)		
貸出				
誰にでも	9 (45%)	11 (39%)		
入院の方のみ	9 (45%)	14 (50%)		
検討中	0 (0%)	0 (0%)		
実施せず閲覧のみ	2 (10%)	3 (11%)		
3) 図書室スタッフの業務内容:(複数回答式)				
利用者の方がお探しの情報について、どのような資料やパンフレットを見ればよいか案内・説明	1 (5%)	10 (36%)		
学内で相談できる窓口を紹介	4 (20%)	6 (21%)		
インターネット端末やビデオなどの操作説明	4 (20%)	6 (21%)		
本の貸出・返却手続き	15 (75%)	24 (89%)		
本の整理・古い本の入れ替え	18 (90%)	24 (89%)		
本の装備・修理	12 (60%)	16 (57%)		
本のデータ登録	8 (40%)	11 (39%)		
利用記録・統計	11 (55%)	9 (32%)		
その他()	2 (10%)	2 (7%)		
3) -2患者向け図書に関わっているのは(複数回答式)(今回質問)				
司書		7 (25%)		
医師		4 (14%)		
看護師		7 (25%)		
医師・看護師以外の医療従事者		3 (11%)		
事務系職員		17 (60%)		
ボランティア		25 (89%)		
その他		2 (7%)		
注意) 関わっているだけで、常駐しているのではない。				
4) 大学図書館との業務連携:				
行っている	4 (20%)	5 (18%)		
現在は行っていないが具体的に図書館側と協議中である	1 (5%)	1 (4%)		
検討中であるが具体的ではない	2 (10%)	0 (0%)		
行っていない	13 (65%)	22 (79%)		
4) -2公共図書館との業務連携:(今回質問)				
行っている		4 (14%)		
現在は行っていないが具体的に図書館側と協議中である		2 (7%)		
検討中であるが具体的ではない		0 (0%)		
行っていない		22 (79%)		

質問3. 質問1. で「ない」とお答えした方にお伺いします。(総数12)

1) 独立した「図書室」の代替サービスはありますか。		
図書コーナー	5 (36%)	6 (50%)
図書を積んだワゴン巡回 (外来・入院病棟)	2 (14%)	1 (8%)
ない	6 (43%)	3 (25%)
その他	1 (7%)	3 (25%)
2) 今後、患者サービスのひとつとして図書室をつくる具体的な計画はお持ちですか		
ある	2 (15%)	2 (17%)
具体的ではないが意見としては院内にある	5 (39%)	2 (17%)
ない	6 (46%)	7 (58%)
無回答		1 (8%)
3) 「ある」「具体的ではないが意見としては院内にある」とお答えの方は計画・意見の内容をお書きください。		
4) 今までに、患者様から図書室設置や医療情報を調べる場所の設置といった要望がありましたか		
あった	7 (54%)	4 (33%)
なかった	5 (38%)	7 (59%)
無回答	1 (8%)	1 (8%)

質問4. 大学図書館が学内構成員に対して文献情報の検索や文献の取り寄せを行っていることをご存知ですか。

知っている	27 (82%)	30 (75%)
知らない	4 (12%)	8 (20%)
無回答	2 (6%)	2 (5%)

自由回答

● その他の蔵書

- ・がん関連資料
- ・児童書200
- ・がん(胃・大腸・肝・肺・乳)の情報冊子(国立がん研究センター)
- ・県内の情報マップ
- ・月刊誌3誌 新聞3紙
- ・新聞・広報誌
- ・小説テープ 484 、CD377
- ・子ども向け本 588冊

● 医学部図書館との連携

○ している

- ・大学(医学部)図書館で不要となっている図書を送ってもらっている
- ・大学図書館の利用案内
- ・資料収集・購入
- ・本の寄贈等
- ・お互いに内容にあわせての寄贈本の交換や、利用者の問い合わせに対応した取り寄せ

○ していない

- ・交流がない (7図書室)
- ・管理部門が異なるため
- ・学部の図書館と病院図書室では性質が異なるため
- ・取り扱っている図書が異なるため、特に必要性がない
- ・スタッフが常駐しておらず、図書の管理が困難なため
- ・ボランティアと大学図書館スタッフとの交流がない
- ・必要を感じない
- ・教育・研究のための大学図書館と院内の患者図書室では設立趣旨が異なっており、システム等も違っているため、どくりつして運営しているため
- ・提携する業務が見つからない

● 公共図書館との連携

○ している

- ・重複する書籍を送っている
- ・図書館システムの共有・資料の収集
- ・リサイクル図書等の資料収集
- ・100冊を借りていて、四半期に1度入れ替えている
- ・協議中
- ・県立図書館からの本の貸与、県立図書館での公開講座の実施

○ していない

- ・院内に病室までワゴンで公共図書館の本を持って行き貸し出しを行っている。
- ・ボランティアによるサービスがあるため
- ・近隣に公共図書館が無い
- ・交流がない 11図書室
- ・スタッフが常駐しておらず、図書の管理が困難なため
- ・提携する業務が見つからない

- 病院図書室を作らない理由
 - ・ 空き部屋もなく、部屋を作るスペースもない
 - ・ 計画がない
- 患者図書室の計画あり どんな図書室か
 - ・ 附属病院が設置、ネット環境、医療関係図書を備え付ける

質問5. 患者様用の「院内図書室」について、貴大学での患者様サービスについて、患者様への医療情報提供について、その他何でも構いませんのでご自由にご意見をお聞かせください。

- ・ 患者さんとそのご家族に楽しむための本を提供できるように努めています。
- ・ 実際図書館を運営して思う事は、医療情報を求めている方、娯楽等のために本を求めている方、両方いらっしゃるということです。病院の図書室としてどちらも欠かせないと思います。
- ・ 音楽療法やヨガ、手作り教室、ウィッグの相談窓口もあり
- ・ 患者さんや付き添いの方が気持ちよく利用できるように心がけています。図書室内で読書可能なテーブルを設置。返却ポストを設置し、いつでも返却可能です。PCからは1人5枚まで無料でプリント可能。
- ・ 小児科病棟での読み聞かせ、病棟巡回貸し出し
- ・ 大学病院として患者図書室を設置し患者さんへの情報提供等のサービスの為、運営していくことが必要
- ・ 図書以外にもパソコンにて医療情報を検索できたり、疾患や治療に関するDVDを見ることができたりする環境を整えています。また患者さんやご家族から医療の相談があった場合には、図書室から相談担当の看護師へ連絡し、直接お話していただくことも可能であり、患者さんにとって有用であると考えています
- ・ 院内図書室（の要望）よりWi-Fi環境の要望が多い
- ・ 一般書のみでなく、医療情報も提供できる施設を検討中である。
- ・ 病気について調べられる方も多いですが、それ以上にマンガやDVD（特にコメディ）の利用が多く「明るいものや考えなくて済むものが見たい」とおっしゃる方が多いです
- ・ 本年4月にオープンしたばかりで手探りの状態です。
- ・ 感染の問題があり設置は難しいとの結論に至った

- その他の自由記述

- ・ 患者図書室運営について、図書館員ではなく総務課の職員で行っております。図書室と言うより休憩スペースに本棚を設置している、といった感じの状態です。宗教関連、死を連想させるもの、本の状態が悪いものは除いています。
- ・ 本院には医療系（闘病記等）を設置している「患者学習センター」と一般書を置いている「にこにこ文庫」の2つの図書室があります。「患者学習センター」は司書1名で閲覧のみで、「にこにこ文庫」はボランティア数名で月・水・金のみ入院患者と職員へ貸出を行っています
- ・ 院内には①看護部管轄の情報センター ②普通の図書を貸し出す文庫（寄付図書）があり ①を回答した
- ・ 運営はボランティアさんに丸投げ状態です
- ・ 現在本院では病院再開発整備改善工事の為、患者図書室を閉鎖しています。患者図書室を再設置する予定ですが、今後の患者図書室に費やす予算確保が難しい状況にあり、管理・運営についての検討が必要な状況です。
- ・ 患者の探した資料（病気について）を探しても一般向けの本は種類が少なくガンなどに比べて珍しい病気の本がない為、資料が足りない状態です。どうしても難しいものでもよい場合は、隣接する医学図書館もありますが、体調的にも知識的にもそちらの利用は難しい場合が多いです。